

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
現代社会と福祉 I		必修 (社.精.心) 選択 (理.作)	2	1	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>社会福祉の原理・理念・理論・哲学等について、歴史的な展開過程から理解を深め、ソーシャルワークの基本的な視座となることを確認する。また社会政策の概念・理念と人々の生活上のニーズと関連付けて理解する。</p> <p><概要>社会福祉の原理・理念・理論・哲学・歴史等と社会政策の基本的な視点について、テキストを中心とした講義を行う。</p>				
学習上の助言	現代の複雑な社会問題を考えるうえで欠かせない科目であることから、日頃から社会問題について関心を懐くことが必要である。				
教科書	最新 社会福祉士養成講座精神保健福祉士養成講座「社会福祉の原理と政策」/編：一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟/中央法規出版				
参考書	指定参考なし（テキスト以外の必要資料は別途配布し、引用元として参考図書を紹介する。）				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	社会福祉の原理をめぐる思想・哲学と理論を理解し、説明することができる。			HSU(1)、(2)、WP(2)	
②	わが国の社会福祉の歴史的な展開過程の特性を理解し、説明することができる。			HSU(2)、(6)	
③	現代の社会問題を社会問題と社会背景の関係から理解し説明することができる。			HSU(1)、(3)、WP(2)、(3)	
④	社会政策の概念・理念を理解し、説明することができる			HSU(2)	
⑤	社会政策を人々の生活上のニーズと関連付けて理解し、説明することができる。			HSU(2)、(6)、WP(1)、(2)	
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (授業の進め方、評価等についての説明、学習方法について理解する。)	講義	シラバスを精読し講義概要、評価方法等を理解する	4	
2	社会福祉の原理を学ぶ意義について理解する。(序章)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
3	社会福祉の歴史 (第 1 章第 1 節) 社会福祉の歴史の視点と歴史を学ぶ意義を理解する。	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
4	社会福祉の歴史 (第 1 章第 2 節) 欧米の社会福祉の変遷を学ぶ。	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
5	社会福祉の歴史 (第 1 章第 3 節) わが国の社会福祉の歴史の変遷を学ぶ。	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
6	社会福祉の思想・哲学について学ぶ。(第 2 章 第 1 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
7	社会福祉の理論について学ぶ。(第 2 章 第 2 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
8	社会福祉の論点について学ぶ。(第 2 章 第 3 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
9	社会福祉の対象とニーズについて学ぶ。(第 2 章 第 4 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
10	現代における社会問題について学ぶ。(第 3 章 第 1 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
11	現代における社会問題の構造的背景について学ぶ。(第 3 章 第 2 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
12	福祉政策の意義について学ぶ。(第 4 章 第 1 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
13	福祉政策において重要な概念・理念について学ぶ。(第 4 章 第 2 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
14	福祉政策におけるニーズについて学ぶ。(第 5 章 第 1 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
15	福祉政策における資源について学ぶ。(第 5 章 第 2 節)	講義	予習：該当箇所を読む 課題：講義中に提示する	4	
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照する。				

【2021 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計	
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他		
		70	0	0	0	30	100	
総合力指標	知識・技術力	50	0	0	0	10	60	
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10	
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10	
評価のポイント		評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
評価方法	行動目標							
試験	①	✓	講義で学んだ知識を確認する。 試験範囲は講義で用いた教科書、配布プリント及び資料から出題する。講義内容の予習・復習を行い知識を定着させることが必要となる。 ・試験方式（筆記試験） ・A4 サイズ 1 枚分のノートの持ち込みを許可する。					試験解答例を研究室入口と Teams に提示する
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
レポート	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
	⑤							
	⑥							
その他	①	✓	講義内容の理解を深めるために、講義のテーマに応じた課題を講義中に出題し、課題への取り組み内容について評価する。また毎回の講義でリアクションペーパーに講義の感想等を記載して提出する。内容から講義内容の理解や積極性について確認、評価をする。					講義で提出した課題については、コメントを記載して次回講義で返却する。また、質問事項の記載があれば次回講義中に説明を行いクラスで共有する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
	⑤	✓						
	⑥							
備 考								
<p>【履修についての条件】</p> <p>* 社会福祉士、精神保健福祉士国家試験受験を希望する者は必ず履修すること。</p> <p>【受講する際の注意事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本科目は登校型授業であるため、大学が示した感染症予防対策の指針を遵守すること。また感染症予防対策の観点から、教員の指示に従わない行動をとった場合には受講を認めないことがある。その場合、授業は欠席として取り扱う ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更があり得る。 ・ 授業中の私語やスマートフォン等の電子機器類の使用は禁止する。 ・ 受講態度に問題がある場合、注意しても守れない学生については退室をしてもらう。 <p>教員の実務経験：社会福祉士取得後 8 年の実務経験。</p> <p>実践的授業の内容：シラバスの内容に沿って、テキストを中心に講義を行う。教員が実践の中で得た知見を交えて科目内容ができるだけ分かりやすく学ぶことができるように学習を進める。</p>								